

2022年5月17日

本社入居のオフィスビルでグリーン電力を導入

株式会社フォトロン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 瀧水隆)では、このたび、入居する神保町三井ビルディングの賃貸人である三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信、以下「三井不動産」)がテナント向けに提供する、使用電力に卒FIT*1 住宅用太陽光等の環境価値が付いた「グリーン電力提供サービス」の利用を開始いたしますので、お知らせいたします。

導入の詳細

「グリーン電力提供サービス」は、オフィスビルなどで使用する電力をトラッキング付非化石証書*2 の活用によって実質的に再生可能エネルギーとして提供する三井不動産が独自に構築したサービスで、RE100*3 等に対応し導入割合などを柔軟に設計できるのが特徴となります。

このサービスの導入により、神保町三井ビルディングに入居する本社で使用する電力の100%を、実質的に再生可能エネルギー化することとしました。

【参考】

三井不動産 グリーン電力化推進に関するリリース

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/0510/>

- (*1) FIT:再生可能エネルギーの固定価格買取制度(Feed-in Tariff)のこと。一般家庭や事業者が再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が買い取ることを国が約束する制度。2009年度より10年間の期間でスタートし、2019年11月より順次終了。これにより、売電価格や条件が変更となる。
- (*2) トラッキング付非化石証書:非化石電源(石炭や石油といった化石燃料を使用せずに発電する電源)によって発電された電気の環境配慮の可視を証書化したもので、これによりRE100などの国際組織から、実質再生可能エネルギー使用とみなされる。
- (*3) RE100:「Renewable Energy 100%」の略称で、事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的イニシアチブ。

当社のSDGs推進活動について

当社は、2021年4月より「SDGs推進委員会」を設置し、会社全体で国際連合が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組みを推進しております。

「グリーン電力提供サービス」の利用開始は、当社が進めるSDGs推進活動の一環であり、当社が掲げるマテリアリティのうち「社会の安全と地球環境へ配慮」「共創共栄により地域・社会に貢献」を解決するものと考えます。

当社では、今後も様々な活動を通じて持続可能な社会の実現、SDGsの達成に貢献してまいります。

株式会社フォトロンのSDGsへの取り組み

<https://www.photron.co.jp/company/sustainability.html>

【 株式会社フォトロンについて 】

本社： 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング 21 階
代表者： 代表取締役社長 瀧水隆
創業： 1968 年 7 月 10 日
資本金： 1 億円
事業内容： 民生用および産業用電子応用システム（高速度カメラ・画像処理システム、CAD
関連ソフトウェア、放送用映像機器、その他）の開発、製造、販売、輸出入
URL: <https://www.photron.co.jp/>

Photron、Photron ロゴ、すべての Photron 製品名および Photron 製品ロゴは 株式会社フォトロンの
商標または登録商標です。

その他の会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

【報道機関窓口】

株式会社フォトロン 広報担当 : 山下 成規
電話: 03-3518-6276 FAX: 03-3518-6279 電子メール: yamashita@photron.co.jp